

教師ノート

週課	第二年 第四課 第五週
単元	イースター
テーマ	信仰
タイトル	不信仰な弟子たちでも用いてくださるイエス様
テキスト	マルコ16:1—16
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	マルコ16:15
AG 日曜学校教案参照箇所	小上 3-1 幼稚2-3
□導入	
	興味を起す質問をしましょう。 例: あなたがもしサッカー日本代表の監督だったら、どんな選手を選びますか? 能力の高い人や、監督の言うことをちゃんときく人を選ぶのが普通ですね。イエスさまだったら、どんな人を選ぶのでしょうか?
□ポイント1 弟子達は、イエス様がよみがえられたことを信じられませんでした	
	1～9節の説明、前回までの復習として簡潔にしましょう。 アウトラインは特に10節を取り上げます。強調したい点①弟子たちはイエスさまを十字架で失い、失望していただけでなく、自分たちも逮捕されるかもしれないという恐怖からカギをかけた家の中にこもっていました(ヨハネ20:19) ②弟子たちはイエスさまが復活するという教えを忘れて、マリヤの証言を聞いても信じようとしませんでした。
📖メッセンジャーが理解しておくこと	
	マグダラのマリヤ: 7つの悪霊を持っていたがイエスさまいやされた女性。イエスさまに従った大勢の献身的な弟子のひとり。(ルカ8:1-3) イエスさまに出会った「ふたり」については、24章13～35章を読みましょう。
□ポイント2 信じられなかった弟子達の前に、イエス様は現われてくださいました	
	☆イエスさまはどうして弟子たちを叱ったのでしょうか? こどもたちといっしょに考えましょう。 イエスさまを伝える人になるはずの弟子たちが、復活のことをきいてもすなおに信じなかったからです。弟子たちは「不信仰」で「かたくなな心」でした。弟子たちはイエスさまが「人間」というかたちで目に見えているときだけはイエスさまを信じて従っていましたが、十字架にかかれた後は、復活のニュースを聞いても信じませんでした。他の弟子が「イエスさまを見た」と証したとき信じるべきでした。
□ポイント3 信じられなかった弟子達なのにイエス様は大事な命令を与えてくださいました	
	イエスさまは弟子たちを叱りましたが、見捨てることはせず、返って大切な使命を任せてくださいました。 ☆イエスさまはどんな仕事を弟子たちに与えましたか? こどもたちといっしょに考えましょう。 イエスさまは天に帰るのです。そして今度は弟子たちが救いを伝えるのです。イエスさまの働きは天国の本部から、地上にいる弟子たちを通して行なわれます。(小上 3-1p11参照) 神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです(1コリント1:21)

⑤ ウィリアム・アーノットのことは小上 3-1p10も参考にしてください。（神さまはそのすばらしさを稲妻で空に書いて示すような方法ではなくて、弟子たちの生涯そのものを通して、福音が伝えられることを願っておられます。）

11弟子でさえ、不信仰でイエスさまに叱られました。 私たちも不完全なものですが、イエスさまは私たちに、みことばを伝える人になって欲しいと願っておられるのです。 こんなに小さくて弱い私たちを用いてくださることを知るとき、私たちは励ましと勇気をいただくのです。

□ **結論** イエス様は弱い私たちでも見捨てないで、神の国の拡大のために私たちを用いてくださるお方です

私たちに大切な役割を任せてくださるイエスさまに感謝しましょう。 そしてイエスさまに言われたとおり、みことばを伝えていきましょう。 イエスさまは今も生きて私たちとともにいてくださり、その仕事を助けてくださいます。

□ **適用** あなたの周りにいる家族やともだちで、まだイエス様を知らない人たちの名前と顔を思い浮かべて祈ろう。 イエス様はあなたに、その人たちを教会に誘って欲しいと望んでおられます。

イエスさまを信じる人はみな天国へ行けます。 しかし私たちのまわりにはイエスさまをまだ知らない人がたくさんいます。 イエスさまのことを聞いたことがない人は、当然イエスさまを信じることができません。 あなたは誰に福音をつたえますか？